

六郷中だより

六郷中学校だより第13号

令和7年1月23日

<六中HP>



発行・文責：校長 渡邊 賢

3学期がスタートして、2週間がたちました。
これまで、3年生の進路決定に係る第5回まとめ確認テストや私立高校入試、部活動ではソフトテニス男子1年生大会、バドミントン学年別大会が実施され、今週行われている生活参観もあります。

3学期のスタートからあっという間に時間が過ぎ、残すところ3年生の授業日は卒業式まで32日、1・2年生の授業日（登校する日数）は修了式まで40日です。その間に、公立高校前期入試・後期入試、期末試験、3年生を送る会、卒業式とほぼ1週間ごとに行事が行われます。

3学期は、高校への進学、上級学年となるために準備をするスタートの学期(0学期)です。皆さん一人一人、どんな準備が必要なのか、今何をしておいた方がよいのかを、自分なりに考えて可能な限りすぐに実行に移し、結果を残していきましょう。

生活参観へのご参観、ありがとうございます

今週月曜日20日より実施しています生活参観に多くの方のご参観をいただいていますことに、心より感謝いたします。

民生委員の方をはじめ、地域・保護者の皆様のご参観をいただき、生徒たちは参観いただいていることを励みに中学校生活を送っています。

明日24日まで実施していますので、都合のつく方はご参観ください。よろしくお願いします。

一人一人の心に残った法話をいただいて

21日（火）
奈良県薬師寺より大谷徹 英（薬師寺執事長）さんをお招きして「法話」演題：面白く生きようをいただくことができました。



昨年度まで六郷小学校で勤務されていた深澤順美

先生（今年度早川北小勤務）のご尽力で、六郷中学校と大谷さんの出会いを実現していただきました。

互いに気持ちのいいあいさつから法話がスタートし、会場全体が終始法話に引き込まれながら、あっという間の1時間でした。

【大谷徹英さんのプロフィール】(HPより)

1963 昭和38年 東京江東区に生まれる

17歳で薬師寺の僧侶となる

龍谷大学・同大学院修了

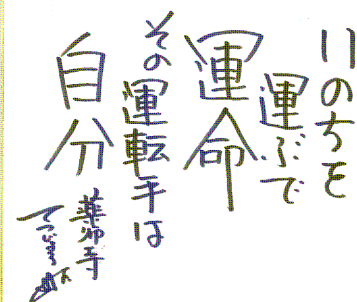
1999 全国各地で「心を耕そう」をスローガンに法話行脚をはじめ

2019 薬師寺執事、副執事長を経て執事長に就任
現在に至る

「面倒なことも気持ちを切り替えて面白くとらえられれば」「同じ時間、同じ空間を過ごしてもその人の物事のとらえ方で変化する」「正しい

と思うことも絶対正しいわけではない」などなど、いくつもの心に残る言葉をいただきました。

「命を大切にすること、物事を色々な角度から見ようと努力すること」、すべて生徒皆さんの未来を見据えて法話をさせていただきました。徹英さんがおっしゃったように、若い頭であれば一つ一つの言葉は記憶に残るはず、これからの生活に活かしていきましょう。そして将来、薬師寺を訪れてみましょう。※カットに入れた「運命」の文字は、大谷徹英さん直筆の色紙です。校内に掲示します。



健康管理を続けましょう

2学期終業式くらいから、インフルエンザやコロナウイルス罹患者が増加したようです。中学校では現在、それほど多くは報告されていません。

まだまだ寒さが続きます。食事をしっかりととり、十分な睡眠時間を確保して、健康を維持しましょう。